

2026年3月期 第1四半期決算説明会

2025年7月28日

 大同特殊鋼株式会社

■ 25年度第1四半期決算の概要

- ☑ 自動車関連、産業機械関連の鋼材売上数量減少等により前年対比減益。
- ☑ 生産アロケーション変更に伴う一時的な費用は計画通り17億円発生。
- ☑ 5月8日公表値（25年度上期）に対して鋼材売上数量が上振れ、為替も円安で推移。

営業利益87億円：進捗率70%（公表値125億円）
 調整後営業利益92億円：進捗率69%（公表値134億円）

（千t・億円）

	2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	前年差
鋼材売上数量	262	253	-9
売上収益	1,421	1,424	3
営業利益	101	87	-14
調整後営業利益※	98	92	-6
税引前利益	114	97	-17
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	68	64	-4

※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税（平準化）、有給休暇引当を補正

■ セグメント別売上収益・営業利益・調整後営業利益

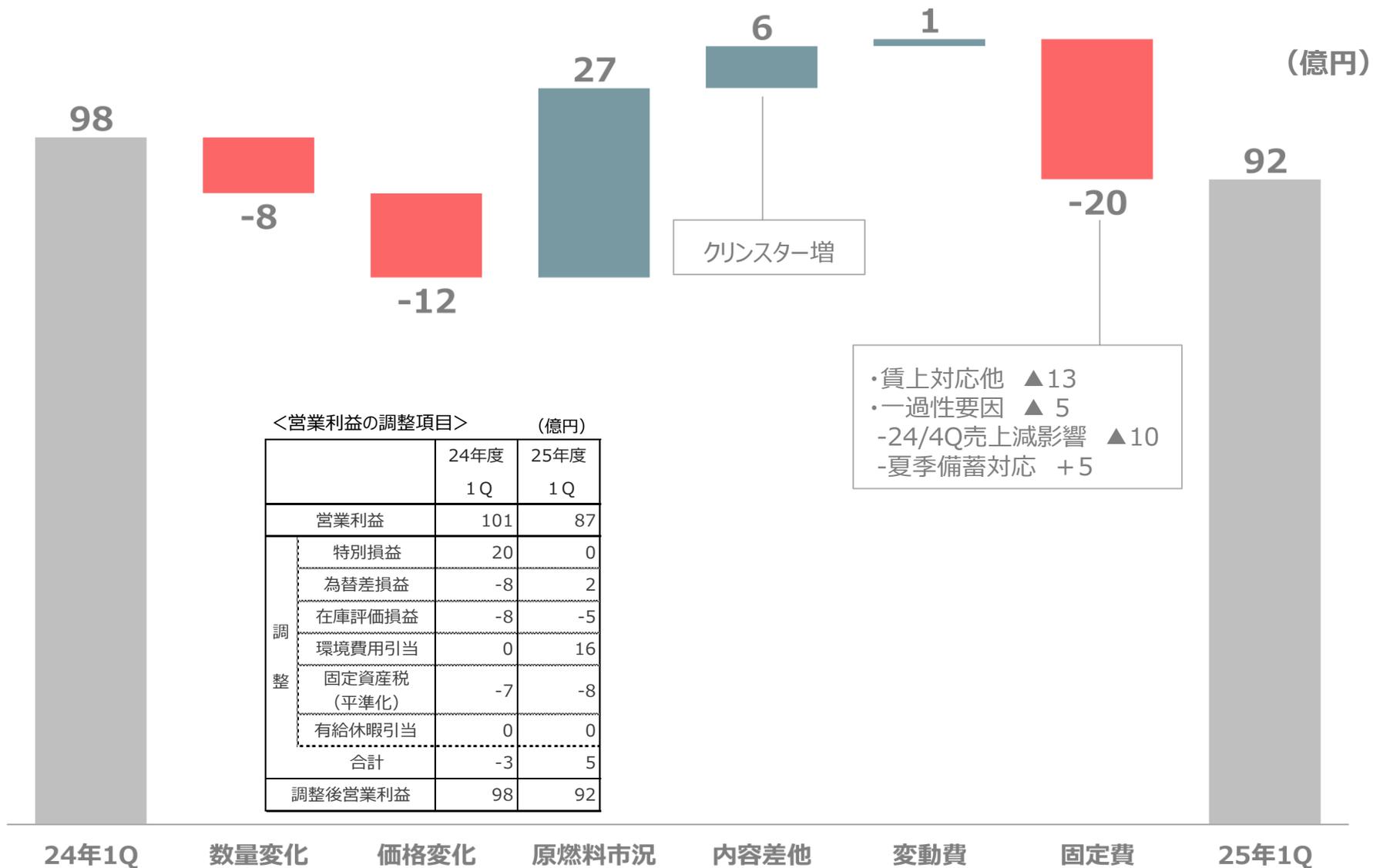
(億円)

	2024年度			2025年度			前年差		
	第1四半期			第1四半期					
	売上収益	営業利益	調整後 営業利益 (※)	売上収益	営業利益	調整後 営業利益 (※)	売上収益	営業利益	調整後 営業利益 (※)
特殊鋼鋼材	534	33	30	512	26	29	-22	-7	-1
機能材料・ 磁性材料	497	30	36	483	31	26	-14	1	-10
自動車部品・ 産業機械部品	272	28	23	293	14	22	21	-14	-1
エンジニアリング	46	2	2	68	7	7	22	5	5
流通・サービス	72	8	7	68	9	8	-4	1	1
合計	1,421	101	98	1,424	87	92	3	-14	-6

※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税（平準化）、有給休暇引当を補正

鋼材売上数量 (単体)	262	253	-9
----------------	-----	-----	----

■ 25年度第1四半期 調整後営業利益の変化要因(前年差)

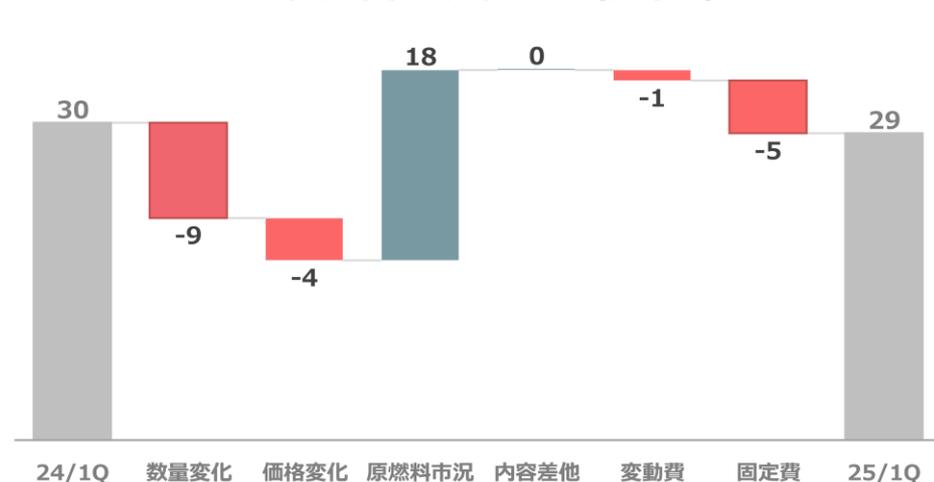


■ 特殊鋼鋼材概況

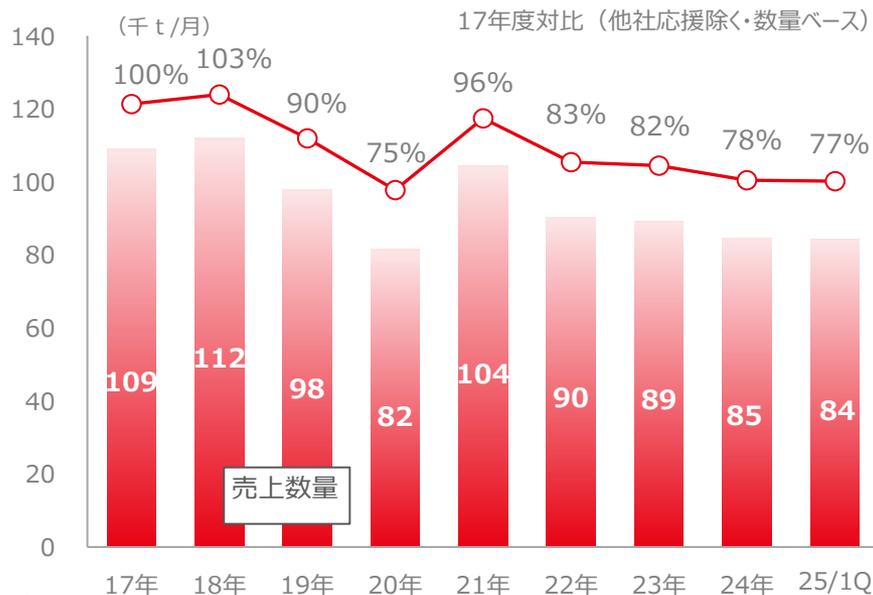
	(億円)		
	24年度 1Q a	25年度 1Q b	前年差 b-a
売上収益	534	512	-22
営業利益	33	26	-7
調整後営業利益 ※	30	29	-1
スライドキヤップ	3	2	-1

※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税(平準化)、有給休暇引当を補正

調整後営業利益変化要因 (前年差) (億円)



<鋼材売上数量(単体)>



POINT

- ✓ 自動車関連は日系自動車メーカーの販売減により当社販売数量も減少。
- ✓ 物価上昇・外注費などのコストプッシュに対し販売価格を是正したことで利益は前期並み。

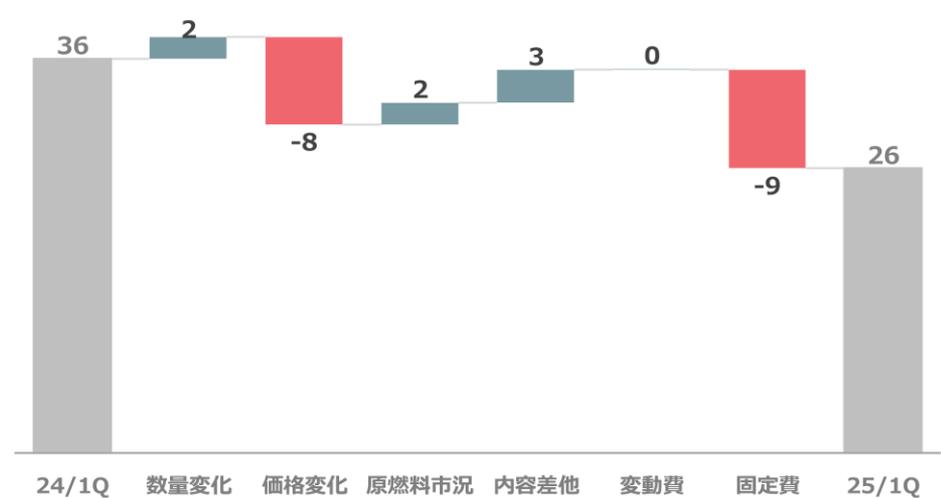
機能材料・磁性材料概況

	(億円)		
	24年度 1Q a	25年度 1Q b	前年差 b-a
売上収益	497	483	-14
営業利益	30	31	1
調整後営業利益 ※	36	26	-10

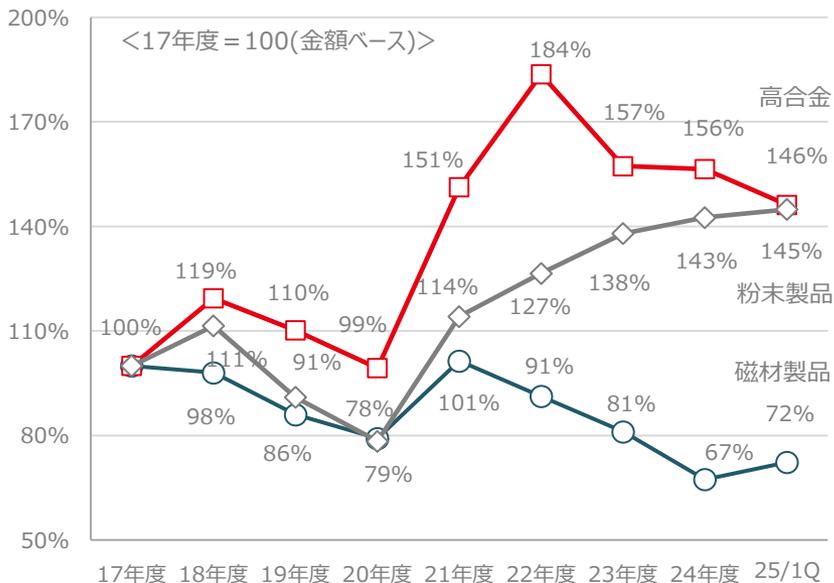
※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税(平準化)、有給休暇引当を補正

調整後営業利益変化要因 (前年差)

(億円)



<高合金・磁材製品・粉末製品 (売上収益)>



POINT

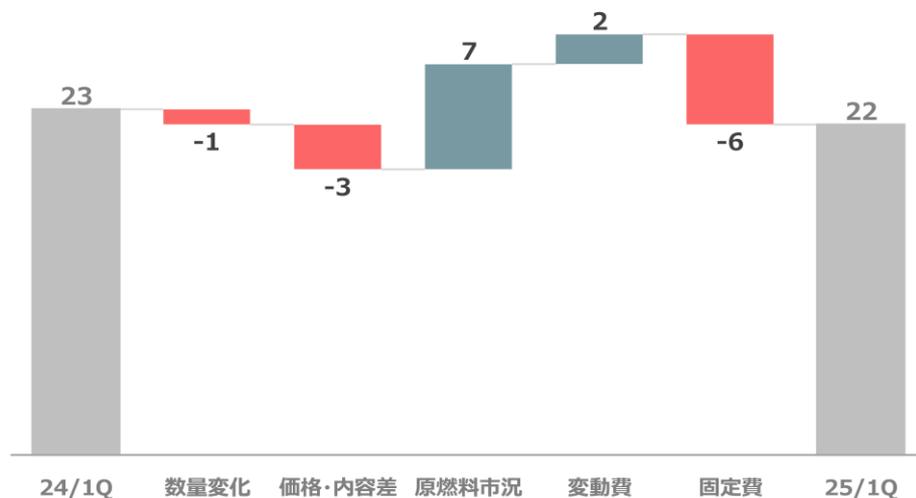
- ✓ 構造用鋼の数量減少による固定費負担増などで減益。
- ✓ 半導体製造装置向けは緩やかに需要が回復しており内容差はプラス。
- ✓ 磁材製品は中国重希土類の輸出規制の強化に伴い Dy (ジスプロシウム)・Tb (テルビウム) などの重希土類フリー磁石の需要が増加。

自動車部品・産業機械部品概況

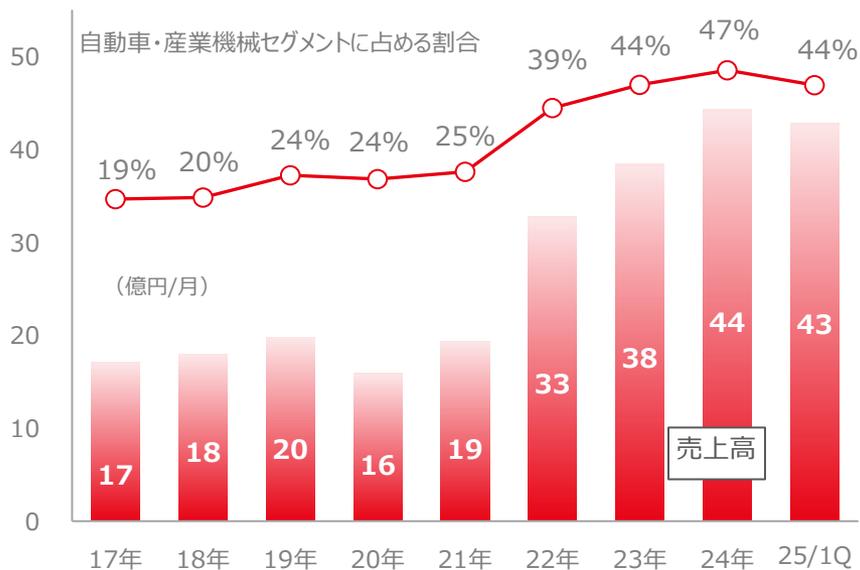
	(億円)		
	24年度 1Q a	25年度 1Q b	前年差 b-a
売上収益	272	293	21
営業利益	28	14	-14
調整後営業利益 ※	23	22	-1

※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税(平準化)、有給休暇引当を補正

調整後営業利益変化要因 (前年差) (億円)



<自由鍛造品 (売上収益)>

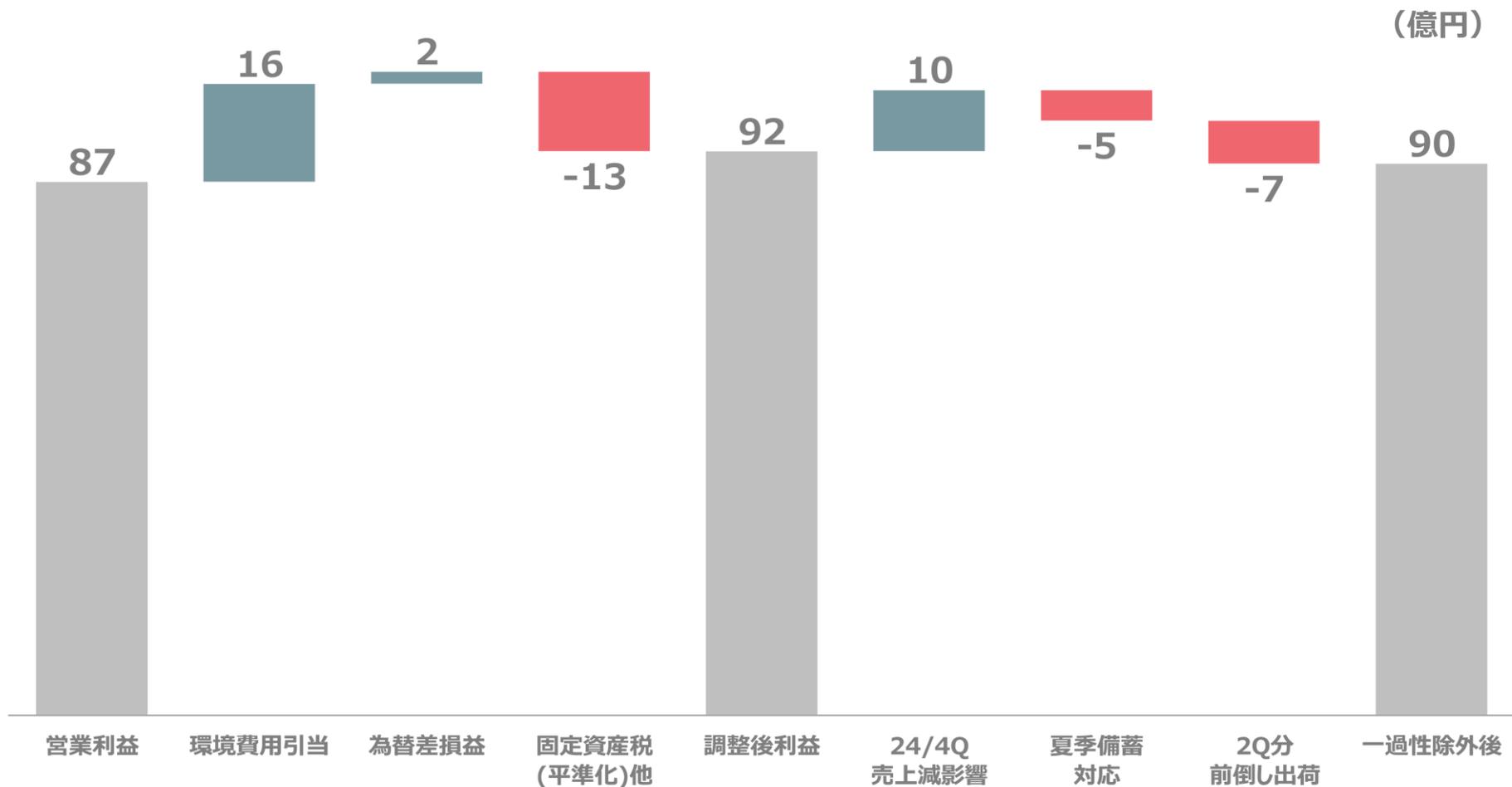


POINT

- ✓ 自由鍛造品は航空機、掘削関連の受注減少も船用バルブ、重電の需要は好調。
- ✓ 関連会社でのエンジンバルブで北米などの需要増加もあり利益は前年並み。

25年度第1四半期の一過性影響

☑ 25年度第1四半期に含まれている一過性要因は下記の通り。



参考資料

■ 営業利益の調整項目推移

(億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
営業利益	101	82	158	53	87	
調整	特別損益	20	3	1	0	0
	為替差損益	-8	24	-14	9	2
	在庫評価損益	-8	7	-5	1	-5
	環境費用引当	0	1	0	0	16
	固定資産税 (平準化)	-7	-8	-7	23	-8
	有給休暇引当	0	0	0	14	0
合計	-3	27	-25	47	5	
調整後営業利益	98	109	133	100	92	

■ 営業利益の調整項目推移（セグメント別）

		特殊鋼鋼材 (億円)				2025年度
		2024年度				1Q
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業利益		33	28	51	9	26
調整	特別損益	0	0	0	0	0
	為替差損益	-2	7	-5	3	0
	在庫評価損益	1	0	0	0	0
	環境費用引当	0	0	0	1	5
	固定資産税(平準化)	-2	-2	-2	5	-2
	有給休暇引当	0	0	0	6	0
合計		-3	5	-7	15	3
調整後営業利益		30	33	44	24	29

		機能材料・磁性材料 (億円)				2025年度
		2024年度				1Q
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業利益		30	21	55	4	31
特別損益		20	3	0	0	0
為替差損益		-3	8	-5	3	1
在庫評価損益		-8	7	-3	0	-5
環境費用引当		0	0	0	1	2
固定資産税(平準化)		-3	-2	-3	9	-3
有給休暇引当		0	0	0	4	0
合計		6	16	-11	17	-5
調整後営業利益		36	37	44	21	26

		自動車部品・産業機械部品 (億円)				2025年度
		2024年度				1Q
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業利益		28	21	39	25	14
調整	特別損益	0	0	0	0	0
	為替差損益	-3	6	-2	3	1
	在庫評価損益	0	1	-1	-2	0
	環境費用引当	0	0	0	0	9
	固定資産税(平準化)	-2	-2	-2	6	-2
	有給休暇引当	0	0	0	4	0
合計		-5	5	-5	11	8
調整後営業利益		23	26	34	36	22

		エンジニアリング (億円)				2025年度
		2024年度				1Q
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業利益		2	6	5	9	7
特別損益		0	0	0	0	0
為替差損益		0	0	-1	1	0
在庫評価損益		0	0	0	0	0
環境費用引当		0	0	0	0	0
固定資産税(平準化)		0	0	0	0	0
有給休暇引当		0	0	0	1	0
合計		0	0	-1	2	0
調整後営業利益		2	6	4	11	7

■ セグメント別調整後営業利益推移

(億円)

	2024年度				2025年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
特殊鋼鋼材	30	33	44	24	29
機能材料・ 磁性材料	36	37	44	21	26
自動車部品・ 産業機械部品	23	26	34	36	22
エンジニアリング	2	6	4	11	7
流通・サービス	7	7	7	8	8
合計	98	109	133	100	92

(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。